

# お母さん、ありがとう

桜井 彩歌

「トントントントントン。」

わたしが朝おきるときこえてくる音です。だいこん、じゃがいも、とうふにわかめ、ねぎでもなんでもトントントン。スパスパに切れるほうちょうでひっさつしごとになんのように切つてしまいます。

「早くのみなよ。みそしるのまないならもう作んないよ。」

わたしが小さいころから言われつづけていることです。わたしはみそしるがきらいです。だからどうしてもさいごまでのこしてしまいます。ゴメンね。

おかあさんはしごとをしています。わたしが学校にいったあと、すぐにいもうとをようちえんにおくつてからそのまましごとにいきます。だからおかあさんはとつてもいそがしいです。わたしがのんびりしていると、

「ゴロゴロゴロ、ドッカーン。」

かみなりがおちてきます。わたしがいそいでしたくしているあいだに、せんたくやかたづけをババッとやっちゃいます。

わたしが学校からかえってきたあとも、ごはんのようにアイロンがけ、おふろそうじに草むしり。そんなおかあさんのたのしみはでっかいグラスでアイスコーヒーをのむことです。ブラックはだめです。クリームを入れないとだめです。とつてもおいしそうにのみます。わたしがおてつだいをする時、アイスコーヒーをのんでいる時とおなじかおになります。

おかあさん、みそしるがんばつてのむね。

おかあさん、ちゃんとしたくできるようにね。

おかあさん、もつといろいろおてつだいますよ。

おかあさん、ありがとう。

アイスコーヒー、おかわりする？